

〔鹽尻〕一細川三齋痴身を苦しみてよめる歌とて、人の語りし。
いかにして我住里をあらすらん消ての後は同じ枯野に

〔柳營諸舊例的八〕同勤引込届

文化乙丑年正月朔日

御届

松平孫大夫

寄合肝煎
松平孫大夫

私儀、今曉る持病之症。積其上風氣罷在候ニ付、年始登城難仕御座候、依之引込養生仕候、此段御届申上候以上、

正月朔日

脹滿

〔倭名類聚抄三〕痕

字書云、痕音恨字亦作痕、腹滿也。

〔箋注倭名類聚抄二〕曲直瀨本帳作長、按廣韻、痕知亮切、屬知母、帳丑亮切、屬徹母、雖並在去聲四十
一漾、其音不同、長直良切、屬定母、在平聲十陽、音韻皆不同、疑帳是帳字之譌、痕帳同音、按玉篇、帳、字書亦作痕、醫心方、脹同訓、○中、按成十年左傳、張如廁、注、張腹滿也、玉篇引左傳作脹如廁、然痕脹並說文所無、皆俗張字、字書訓痕爲腹滿者、蓋依左傳注也、又按左傳張如廁者、謂飽食腹滿、非病名、此宜引病源候論云、腹脹者由陽氣外虛陰氣內積也、證之、下總本正文作脹、注作痕、按玉篇云、字書作痕、則知正文作脹非是、

〔伊呂波字類抄波流〕痕ハラフクル

〔增補下學集上體〕痕ハラフクル腹滿チヤウマン

〔醫心方六〕治心腹脹滿方第六

病源論云、心腹脹者、脾虛而耶氣容之、乘於心脾故也、葛氏方治卒苦心腹煩滿、又脅脹痛欲死方、○下

〔三代實錄三十〕天皇諱貞明、先太上天皇之第一子也、母皇太后子高贈太政大臣正一位藤原朝臣長

陽成